



社会教育主事「K」&社会教育士「S」が行く



～中央小まつり取材編～



みなさんこんにちは！社会教育士「S」です。今回は、12月22日（月）に開催された「中央小まつり」を取材しましたので、その様子をお伝えします。

中央小まつりは、今から34年前の平成3年、中央小学校と焼山小学校の統合をきっかけに「中央小フェスティバル」として始まりました。学校統合に伴い、今回が最後の開催となります。

異学年との交流を深め、集団の決まりを守ることを大切にしてきた中央小まつり。各ブースは子どもたちにより交代で運営され、ゲームに挑戦する子どもたちもいきいきと心から楽しんで、学年の垣根を越えて助け合いながら取り組む姿がとても印象的でした。



ラウンド中央 (ボウリング)



まちめい (ましがいさがし)



SSASUKE



闇に光る目 (お化け屋敷)

中央小まつり閉会式の後には、地域のみなさんを中心とした「おやじの会」とPTAの皆さんにより、豚汁や焼きそば、焼き芋などの心のこもった料理がふるまわれました。

子どもたちは、ブースを運営した班ごとに集まり、交流を深めながら、笑顔でおいしそうに味わっていました。

